

令和8年度		指導計画・評価規準		3学年		教科名【技術・家庭科 技術分野】		使用教科書【東京書籍】	
学期	学習指導要領と単元名	学習内容	配当 時数	観点別評価規準			主な評価方法		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
1	4編1章 生活や社会を支える情報の技術 ④情報通信ネットワークの仕組み ⑤情報セキュリティの仕組み ⑥情報モラル ⑦情報の技術の問題解決の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークの仕組み ・情報セキュリティ ・情報の社会に与える影響や問題解決の工夫 	3	情報通信ネットワークの構成と、情報を利用するための基本的な仕組みを理解し、安全・適切なプログラムを制作、動作の確認及びデバック等ができる技能が身に付いている。	情報の技術の問題解決の工夫を読み取り、技術の見方・考え方について気づくことができる。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。	知識・技能 ・ペーパーテスト ・作業プリント ・ワークノート ・実技テスト ・作業の取り組み ・レポート ・小テスト		
								2	2編1章 生物育成の技術の原理・法則と仕組み ①生物育成の技術とは何だろう ②作物の育成環境を調節する技術 ③作物の成長を管理する技術 ④動物を育てる技術 ⑤水産生物を育てる技術 ⑥生物育成の技術の工夫を読み取ろう
3	2編2章 生物育成の技術による問題解決 ①問題を発見し、課題を設定しよう ②生物の育成計画を立てよう ③成長の段階に合わせて適切に育成しよう (ダイコン) ④問題解決の評価、改善・修正	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭、学校、地域、社会における問題解決の課題の設定 ・育成計画 ・定植、支柱立て・誘引、かん水 ・摘芽、摘芯、受粉 ・健康管理、病虫害駆除 ・収穫 ・栽培記録 	7	安全・適切な栽培又は飼育、検査等ができる技能を身に付けている。	問題を見いだして課題を設定し、育成環境の調節方法を構想して育成計画を立てるとともに、栽培又は飼育の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。	主体的に情報の技術について考え、理解しようとしている。	主体的に学習に取り組む態度 ・発言 ・ワークノート ・作業プリント ・作業の取り組み ・レポート		
								3	2編3章 社会の発展と生物育成の技術 ①生物育成の技術の最適化 ②これからの生物育成の技術
3	4編2章 双方向のコンテンツのプログラミングによる問題解決 ①双方向のあるコンテンツのプログラミングとは何だろう ②問題を発見し、問題を設定しよう ③コンテンツを構想しよう ④コンテンツのプログラム製作をしよう ⑤問題解決の評価、改善・修正	<ul style="list-style-type: none"> ・計測・制御システムの役割 ・計測・制御システムの基本的な構成と情報の流れ ・計測・制御システムのプログラミング ・センサーと仕事を行う部分の選択 ・計測、制御システムの構成の整理 ・自動化、システム化が実現するプログラム製作 ・安全性、環境への配慮、正確性、使いやすさ、製作工程が適切か、誤りが少ないか、著作権の配慮などの評価 	4.5	生活や社会、環境との関わりを踏まえて、生物育成の技術の概念を理解している。	双方向性のあるコンテンツの基本的な仕組みを理解している。	問題を見いだして課題を設定し入出力されるデータの流れを元に計測・制御システムを構想して情報処理の手順を具体化するとともに、制作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。	主体的に情報の技術について考え、理解しようとしている。		
								3	4編3章 計測・制御のプログラミングによる問題解決 ①計測・制御システムとは何だろう ②問題を発見し、課題を設定しよう ③計測・制御システムを構想しよう ④計測・制御システムのプログラムを作成しよう ⑤問題解決の評価、改善・修正